

平成31年度

入学者選抜に関する要項

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

目 次

京都教育大学教育学部 入学者選抜に関する要項

	ページ
I. 募 集 人 員	1
II. 入学者選抜方法	1
III. 一般入試（個別学力検査等による選抜）	
1. 出願資格	2
2. 選抜方法等	2
平成31年度入試での変更点について	3
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	4
4. 出願期間	4
5. 出願について	4
6. 選抜期日	4
7. 合格発表日	4
平成31年度京都教育大学教育学部一般入試の実施教科・科目等について	5
IV. 特別入試	
○推薦入試	13
1. 出願資格及び要件	13
2. 選抜方法等	15
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	16
4. 出願期間	16
5. 出願について	16
6. 選抜期日	16
7. 合格発表日	16
○地域指定推薦入試	17
1. 出願資格及び要件	17
2. 選抜方法等	17
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	18
4. 出願期間	18
5. 出願について	18
6. 選抜期日	18
7. 合格発表日	18
平成30年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況	19
平成31年度学生募集要項の請求	23

京都教育大学教育学部

平成31年度 入学者選抜に関する要項

I. 募集人員

教育学部

学校教育教員養成課程 300名

募集人員の内訳は次のとおりである。

募集区分	入学定員	募集人員			
		一般入試		特別入試	
		前期日程	後期日程	推薦入試	※地域指定推薦入試
教育学専攻	300	16	—	6	20
幼児教育専攻		9	—	4	
発達障害教育専攻		10	—	4	
国語領域専攻		11	4	4	
社会領域専攻		18	—	12	
英語領域専攻		16	4	5	
数学領域専攻		15	7	7	
理科領域専攻		21	7	13	
技術領域専攻		8	—	5	
家庭領域専攻		11	—	5	
美術領域専攻（美術分野）		9	—	4	
（書道分野）		3	—	—	
音楽領域専攻		7	—	5	
体育領域専攻		15	5	10	
合計	300	169	27	84	20

※地域指定推薦入試は、京都府内の高等学校等を対象とした推薦入試（詳細は17～18ページ参照）。

II. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により実施する。

1. 一般入試（個別学力検査等による選抜）

平成31年度大学入試センター試験を課し、分離分割方式による個別学力検査等で選抜を行う。

2. 特別入試（推薦入試、地域指定推薦入試）

大学入試センター試験を課さない推薦入試、地域指定推薦入試を実施する。

（詳細は、13～18ページに掲載）

Ⅲ. 一般入試（個別学力検査等による選抜）

1. 出願資格

本学が指定した平成31年度大学入試センター試験の教科・科目（5ページから12ページに掲載）を受験した者で、次のいずれかに該当する者及び平成31年3月31日までに該当見込みの者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

ただし、学校教育法施行規則第150条第7号による出願を希望する者は、入学資格（出願資格）審査を受け、出願資格の認定を得なければならない。

<入学資格（出願資格）審査の申請手続き>

①審査の申請書類（申請者の学習歴により異なる場合がある。）

- ・入学資格（出願資格）審査申請書（本学所定用紙 ※事前に請求すること）
- ・最終学校等の卒業（見込）証明書
- ・最終学校等の成績証明書
- ・最終学校等の教育課程表
- ・最終学校等の校則等
- ・その他本学が必要と認めた書類（審査申請受付後、該当者には別途連絡する。）

②審査の方法

書類審査。ただし、書類審査で判断できない場合は、本人に別途通知の上、審査を行う。

③審査申請期限

平成30年8月31日（金）まで

受付時間は、土、日曜日及び祝日を除く、9時～12時30分、13時30分～17時。

郵送により申請を行う場合は、書留郵便で8月31日（金）までに必着のこと。

ただし、大学入試センター試験を受験した者が、志望大学を変更して、本学に入学資格（出願資格）審査の申請を行う場合は、平成31年1月22日（火）までとする。

④審査申請書類の提出先

本学 教務・入試課 入試グループ

⑤審査結果の通知

文書により本人に通知する。

2. 選抜方法等

入学者の選抜は、平成31年度大学入試センター試験の成績並びに本学が行う平成31年度個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合して判定する。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目は、5～12ページの「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄のとおり。

また、平成31年度入試での変更点は、3ページの「平成31年度入試での変更点について」のとおり。

平成31年度入試での変更点について

(1) 募集人員の変更

一般入試（前期日程）

教育学専攻	15名→16名
国語領域専攻	10名→11名
社会領域専攻	19名→18名
数学領域専攻	14名→15名
理科領域専攻	20名→21名
美術領域専攻（美術分野）	10名→9名

一般入試（後期日程）

体育領域専攻	6名→5名
--------	-------

推薦入試

教育学専攻	5名→6名
理科領域専攻	12名→13名
美術領域専攻（美術分野）	7名→4名

(2) 大学入試センター試験の利用教科・科目の変更

一般入試（前期日程・後期日程）

全専攻

「外国語」英、独、仏、中、韓から1科目を選択 → 英語

(3) 個別学力検査等の教科・科目の変更

一般入試（前期日程）

教育学専攻

「国語」「外国語」 → 「国語」「小論文」

幼児教育専攻・発達障害教育専攻・国語領域専攻

「国語」「外国語」 → 「国語」「面接」

英語領域専攻

「国語」「外国語」 → 「外国語」

技術領域専攻

「国語」「数学」「理科」から2教科を選択 → 「国語」「数学」「理科」から1教科を選択
「面接」

音楽領域専攻

「実技検査」 → 「実技検査」「面接」

(4) 大学入試センター試験の配点の変更

一般入試（前期日程・後期日程）

全専攻

「外国語」 200点 → 250点

(5) 個別学力検査等の配点の変更

一般入試（前期日程）

教育学専攻

「国語」200点 「外国語」200点 → 「国語」300点 「小論文」100点

幼児教育専攻・発達障害教育専攻

「国語」200点 「外国語」200点 → 「国語」200点 「面接」200点

国語領域専攻

「国語」200点 「外国語」200点 → 「国語」300点 「面接」100点

英語領域専攻

「国語」200点 「外国語」200点 → 「外国語」400点

技術領域専攻

「国語」「数学」「理科」 2教科各200点 → 1教科300点 「面接」100点

音楽領域専攻

「実技検査」400点 → 「実技検査」300点 「面接」100点

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年12月17日（月）までに、本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、12月18日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

平成31年1月28日（月）から2月6日（水）まで

5. 出願について

(1) 試験日程グループ間の併願について

国公立大学の試験日程グループ間の併願については、「前期－前期」、「後期－後期」の組み合わせで併願することはできないので注意すること。

(2) 本学の併願について

本学の「前期日程」に出願する者が、本学の「後期日程」に出願してもよい。

6. 選抜期日

前期日程

募集区分	日程
教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、 国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、 数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、 家庭領域専攻	2月25日（月）
美術領域専攻（美術分野、書道分野）、 音楽領域専攻、体育領域専攻	2月26日（火）

後期日程

募集区分	日程
国語領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、 理科領域専攻、体育領域専攻	3月12日（火）

7. 合格発表日

前期日程：平成31年3月 7日（木）（予定）

後期日程：平成31年3月21日（木）（予定）

平成31年度 京都教育大学教育学部一般入試

＜全募集区分に共通の注意事項＞

大学入試センター試験については、下記のとおりとする。

(1) 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験している場合に合否判定に利用する科目の成績は、次のとおりとする。

- ① 「地理歴史・公民」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用する。
- ② 「理科」から1科目選択となっている場合は、「第1解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「基礎を付した科目」及び「基礎を付さない科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ③ 「地理歴史・公民」、「理科」から1科目選択となっている場合は、いずれか高得点の「第1解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第1解答科目」及び「理科」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ④ 「地理歴史・公民」、「理科」から3科目選択となっている場合は、それぞれの「第1解答科目」及びいずれか高得点の「第2解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第1解答科目」の成績と「地理歴史・公民」の「第2解答科目」及び「理科」のうち高得点の2科目の成績を利用する。

学部・入学定員 募集区分・募集人員		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部 300人 前期 169 後期 27 その他 104	教育学専攻 前期 16	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 小論文
	幼児教育専攻 前期 9		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接
	発達障害教育専攻 前期 10		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接

(※)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

の実施教科・科目等について

(2) 大学入試センターにリスニングテストの免除を認められている場合は、筆記試験（200点満点）の得点を250点満点に換算し利用する。なお、免除を認められた者以外でリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったものとして取り扱う。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点

試験の区分	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 合 計
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	300					100			400
計	500	200	200	100	250	100			1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部	国語領域専攻	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	そ 他	小論文 面接
	社会領域専攻	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接
	英語領域専攻	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	外	英語(コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III・英語表現I・英語表現II)
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から2 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※) 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	そ 他	小論文 面接

(※)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点

試験の区分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 合 計
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	300							100	400
計	500	200	200	100	250			100	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査						300		300	600
計	200	200	200	100	250	300		300	1550
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査					400				400
計	200	200	200	100	650				1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査						200		200	400
計	200	200	200	100	250	200		200	1350

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部	数学領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数A・数B・数III 物基・物,化基・化, 生基・生,地基・地学から1 (数B:数列,ベクトル)
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接
	理科領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数I・数II・数A・数B・数III(*) 物基・物,化基・化, 生基・生,地基・地学から1 (数B:数列,ベクトル) (*)数III:選択問題の設定等により, 数IIIを履修していない受験生に 配慮した出題を行う。
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から2(※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接
	技術領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 物,化,生,地学(※) } から 数I,数I・数Aから1と } 3 数II,数II・数B,簿,情報から1 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 数 理 そ 他	国語総合 数I・数II・数A・数B・数III(*) } から 物基・物,化基・化, } 1 生基・生,地基・地学から1 } 教科 面接 (数B:数列,ベクトル) (*)数III:選択問題の設定等により, 数IIIを履修していない受験生に 配慮した出題を行う。

(※) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
 この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
 なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例：(物理基礎、生物基礎) + (物理)を可とする。)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点									
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点計
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査			200	200					400
計	200	100	400	400	250				1350
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査						200		100	300
計	200	100	200	200	250	200		100	1250
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査			200	200					400
計	200	100	400	400	250				1350
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査						200		200	400
計	200	100	200	200	250	200		200	1350
センター試験	200	100+ ★100	200	100+ ★100	250				950
個別学力検査	★300		★300	★300				100	400
計	200+ ★300	100+ ★100	200+ ★300	100+ ★100+ ★300	250			100	1350

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科（1教科）の配点を示す。

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部	家庭領域専攻 前期 11	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 物,化,生,地学(※1) 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 英語 [6教科(又は5教科)7科目]	国 その他	国語総合 面接
	美術領域専攻 (美術分野) 前期 9 (書道分野) 前期 3	前期 2月 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1または 数II,数II・数B,簿,情報から1(※3) 物,化,生,地学から1(※2) 英語 [5教科5科目]	その他	実技検査
	音楽領域専攻 前期 7		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※2) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 面接
	体育領域専攻 前期 15	前期 2月 26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経から1 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 物,化,生,地学から1(※2) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 小論文
	後期 5	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫政経 物,化,生,地学(※2) 数I,数I・数Aから1と 数II,数II・数B,簿,情報から1 英語 [4教科5科目]	その他	実技検査 小論文

(※1)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例：(物理基礎、生物基礎) + (物理)を可とする。)

(※2)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

(※3)美術領域専攻の数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用する。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点									
試験の区分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 計
センター試験	200	100+ ★100	200	100+ ★100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	100+ ★100	200	100+ ★100	250			200	1350
センター試験	200	100	100	100	250				750
個別学力検査							600		600
計	200	100	100	100	250		600		1350
センター試験	200	100	200	100	250				850
個別学力検査							300	100	400
計	200	100	200	100	250		300	100	1250
センター試験	200	100	200	100	250				850
個別学力検査						100	400		500
計	200	100	200	100	250	100	400		1350
センター試験	200	★200	200	★200	250				850
個別学力検査						100	400		500
計	200	★200	200	★200	250	100	400		1350

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科（1教科）の配点を示す。

IV. 特別入試

○ 推薦入試

高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下、「高等学校等」という。）を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者で、特に本学への入学を希望し、学業成績、人物が共に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して推薦入試を実施する。

1. 出願資格及び要件

- ①高等学校等を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
- ②出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③合格した場合、入学することを確約できる者

上記の出願資格及び要件を全て満たし、かつ募集区分毎の出願資格及び要件を全て満たしている者。

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
教育学専攻	6	1. 教育学及び心理学に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
幼児教育専攻	4	1. 幼児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 幼稚園教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
発達障害教育専攻	4	1. 障害児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 特別支援学校教員 もしくは 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
国語領域専攻	4	1. 国語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.2 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
社会領域専攻	12	1. 社会科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
英語領域専攻	5	<p>1. 英語に強い関心を持ち、将来、小学校教員もしくは中学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
数学領域専攻	7	<p>1. 数学（算数）に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
理科領域専攻	13	<p>1. 理科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
技術領域専攻	A入試 3 B入試 2	<p>1. 次のいずれかに該当する者</p> <p>A入試：工業・農業などの産業分野の教育及び研究に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、中学校教員等になろうとする者</p> <p>B入試：もの作りや情報の活用などに強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 出願できる高等学校等</p> <p>A入試 対象となるのは以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高等学校に在籍する者 ・農業高等学校に在籍する者 ・高等学校において、専門教育に関する教科「工業」及び「農業」に含まれる科目の単位を25単位以上履修した者 <p>B入試 対象となるのは上記A入試の対象外の高等学校等（普通科を含む。）に在籍する者</p> <p>3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値がA入試は4.2以上、B入試は4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
家庭領域専攻	5	<p>1. 家庭科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
美術領域専攻	4	1. 造形教育ならびに美術・工芸に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 芸術的表現に関して、個人やクラブ活動などで意欲的な活動が認められる者 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。
音楽領域専攻	5	1. 音楽に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
体育領域専攻	10	1. 体育・スポーツ分野(保健を含む。)に強い関心を持ち、将来、学校教員になろうとする者 2. 学校体育で取り扱われている内容、及び本学の教育課程に対応する以下の運動種目において、優れた運動能力を有する者(全国規模の大会 ^(注1) への出場経験を有する者、又はブロック大会 ^(注2) にて、ベスト8、もしくは8位以上の競技成績を有する者) 出願可能運動種目： 器械体操、陸上競技、競泳、球技【ゴール型(バスケットボール、ハンドボール、サッカー)：ネット型(バレーボール、テニス[ソフトテニスを含む。])：ベースボール型(ソフトボール、野球)】、 武道(柔道、剣道)、野外活動(スキー) 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 (注1) 全国規模の大会とは、インターハイ、国体及びそれらと同等以上の大会をいう。 (注2) ブロック大会とは、都道府県大会の上位チームもしくは上位の成績を得た個人が、近畿大会など、複数の都道府県からの代表チーム又は個人として競う大会をいう。 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。

2. 選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、以下の方法により選抜を行う。

〔教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻(A入試、B入試)、家庭領域専攻〕
 推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

〔美術領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文、面接及び美術・工芸作品による選抜を行う。

当日は、作品持参(2点以内)を原則とする。

〔音楽領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、実技検査等及び面接による選抜を行う。

〔体育領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、体育・スポーツ業績調書、小論文、面接による選抜を行う。

第1次試験：体育・スポーツ業績調書による選抜を行う。

第1次試験の選抜結果は、11月22日付けの文書をもって通知する。

第2次試験：第1次試験の合格者に対し小論文及び面接を課し、第1次試験の成績と総合して選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年9月28日（金）までに、本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月29日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

平成30年11月1日（木）から11月5日（月）まで

5. 出願について

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- (2) 出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

6. 選抜期日

平成30年12月8日（土）

（体育領域専攻の第2次試験も、同日に実施する。）

7. 合格発表日

平成30年12月20日（木）（予定）

○ 地域指定推薦入試

京都府内の高等学校又は高等部を置く特別支援学校（以下、「高等学校等」という。）を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者で、将来京都府内の小学校教員として地域に貢献しようとする強い意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して地域指定推薦入試を実施する。

募集人員は、全専攻（教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、家庭領域専攻、美術領域専攻（美術分野、書道分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻）から20名（出願要件A：10名程度 出願要件B：10名程度）である。

1. 出願資格及び要件

(1) 出願要件A（京都府北部地域）

次の①～⑤の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等の推薦人数は、1校につき3名以内とする。ただし、各校が推薦できるのは1専攻につき1名とする。

- ①京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町内）の高等学校等を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者
- ②小学校教員を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府北部の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者

(2) 出願要件B（京都府内〔出願要件Aの京都府北部地域を除く〕）

次の①～⑤の全て、又は①～⑥の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等からの推薦人数は、①～⑤の全てを満たす場合は、1校につき1名とし、①～⑥の全てを満たす場合は、更に2名以内の推薦を認める。ただし、各校が推薦できるのは1専攻につき1名とする。

- ①京都府内（出願要件Aの京都府北部地域を除く）の高等学校等を平成31年3月卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者
- ②小学校教員を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府内の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者
- ⑥教育に関する専門学科に在籍する者

2. 選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年9月28日（金）までに、本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月29日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

平成30年11月1日（木）から11月5日（月）まで

5. 出願について

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- (2) 本学推薦入試との併願は可能であるが、出願書類及び検定料等は、別に提出すること。
- (3) 地域指定推薦入試に合格した者は、推薦入試の合格者とはならない。
- (4) 出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。
- (5) 出願要件A、Bとも、各高等学校等からの地域指定推薦入試への推薦人数は、教育学部推薦入試の各専攻ごとの推薦人数には含まれない。

6. 選抜期日

平成30年12月1日（土）

7. 合格発表日

平成30年12月6日（木）（予定）

平成30年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況

一般入試

募集区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	教育学専攻	15	34	31	18	1.7	17
	幼児教育専攻	9	32	32	10	3.2	10
	発達障害教育専攻	10	21	21	12	1.8	11
	国語領域専攻	10	22	21	13	1.6	13
	社会領域専攻	19	43	42	21	2.0	21
	英語領域専攻	16	26	25	16	1.6	15
	数学領域専攻	14	29	29	16	1.8	16
	理科領域専攻	20	45	43	22	2.0	21
	技術領域専攻	8	39	36	8	4.5	8
	家庭領域専攻	11	29	27	11	2.5	11
	美術領域専攻(美術分野)	10	20	19	11	1.7	11
	美術領域専攻(書道分野)	3	25	22	4	5.5	4
	音楽領域専攻	7	11	10	7	1.4	7
	体育領域専攻	15	32	29	15	1.9	15
	前期日程合計	167	408	387	184	2.1	180
後期日程	国語領域専攻	4	23	11	5	2.2	5
	英語領域専攻	4	18	8	4	2.0	4
	数学領域専攻	7	17	8	6	1.3	6
	理科領域専攻	7	21	11	7	1.6	6
	体育領域専攻	6	70	27	7	3.9	6
後期日程合計	28	149	65	29	2.2	27	
一般入試合計		195	557	452	213	2.1	207

- 注 1. 受験者には、他の国公立大学入学手続完了者を含まない。
2. 倍率は、受験者／合格者で表示。

推薦入試

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	5	34	30	6	5.0	6
幼児教育専攻	4	21	19	6	3.2	6
発達障害教育専攻	4	18	18	7	2.6	7
国語領域専攻	4	21	20	4	5.0	4
社会領域専攻	12	41	37	15	2.5	15
英語領域専攻	5	14	14	5	2.8	5
数学領域専攻	7	25	24	9	2.7	9
理科領域専攻	12	24	22	14	1.6	14
技術領域専攻(A入試)	3	13	13	5	2.6	5
技術領域専攻(B入試)	2	2	2	1	2.0	1
家庭領域専攻	5	7	6	3	2.0	3
美術領域専攻(美術分野)	7	11	11	7	1.6	7
音楽領域専攻	5	26	26	6	4.3	6
体育領域専攻	10	20	14	11	1.3	11
合計	85	277	256	99	2.6	99

- 注 1. 受験者には、地域指定推薦入試合格者を含まない。
2. 体育領域専攻の第1次試験合格者は15名。
3. 倍率は、受験者／合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件A(京都府北部地域)

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	3	3	1	1.8	1
幼児教育専攻		0	0	0		0
発達障害教育専攻		0	0	0		0
国語領域専攻		0	0	0		0
社会領域専攻		3	3	3		3
英語領域専攻		3	3	2		2
数学領域専攻		2	2	1		1
理科領域専攻		0	0	0		0
技術領域専攻		0	0	0		0
家庭領域専攻		1	1	1		1
美術領域専攻(美術分野)		0	0	0		0
美術領域専攻(書道分野)		1	1	0		0
音楽領域専攻		1	1	0		0
体育領域専攻		4	4	2		2
合計			18	18		10

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件B(京都府内[出願要件Aの京都府北部地域を除く])

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	10	10	3	3.6	3
幼児教育専攻		3	3	2		2
発達障害教育専攻		1	1	0		0
国語領域専攻		4	4	1		1
社会領域専攻		3	3	1		1
英語領域専攻		1	1	0		0
数学領域専攻		2	2	0		0
理科領域専攻		3	3	2		2
技術領域専攻		1	1	0		0
家庭領域専攻		2	2	1		1
美術領域専攻(美術分野)		1	1	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		3	3	0		0
体育領域専攻		2	2	0		0
合計			36	36		10

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

教育学部計

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	167	408	387	184	2.1	180
後期日程	28	149	65	29	2.2	27
一般入試計	195	557	452	213	2.1	207
推薦入試	85	277	262	99	2.6	99
地域指定推薦入試	20	54	54	20	2.7	20
合計	300	888	768	332	2.3	326

過去の入学者選抜実施状況

年度	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
平成26年度	300	1,114	873	334	2.6	324
平成27年度	300	959	763	337	2.3	316
平成28年度	300	928	757	339	2.2	329
平成29年度	300	904	770	334	2.3	324

平成30年度 京都教育大学教育学部 入学者選抜試験(一般入試)

合格者の平均点・最高点・最低点

募集区分	募集人員	合格者	大学入試センター試験			個別学力検査等			総合得点					
			配点	平均点	最高点	最低点	配点	平均点	最高点	最低点	配点合計	平均点	最高点	最低点
教育学専攻	15	18	900	645.4	724	607	400	238.2	276	211	1300	883.6	985	831
幼児教育専攻	9	10	900	649.8	708	612	400	225.4	284	194	1300	875.2	960	806
発達障害教育専攻	10	12	900	603.3	674	558	400	220.2	263	164	1300	823.4	937	784
国語領域専攻	10	13	900	662.2	735	553	400	243.4	288	203	1300	905.6	1012	807
社会領域専攻	19	21	900	650.8	714	593	400	266.8	313	216	1300	917.6	997	861
英語領域専攻	16	16	900	602.9	684	502	400	219.4	254	177	1300	822.3	928	716
数学領域専攻	14	16	900	661.7	707	621	400	205.6	264	148	1300	867.3	947	826
理科領域専攻	20	22	900	625.8	766	528	400	209.8	305	144	1300	835.6	987	769
技術領域専攻	8	8	900	599.3	***	***	400	179.5	***	***	1300	778.8	821	741
家庭領域専攻	11	11	900	587.6	608	556	400	251.5	306	214	1300	839.1	904	799
美術領域専攻(美術分野)	10	11	700	437.6	515	347	600	431.2	537	327	1300	868.8	1019	801
美術領域専攻(書道分野)	3	4	700	400.5	***	***	600	502.5	***	***	1300	903.0	***	***
音楽領域専攻	7	7	800	538.4	***	***	400	318.6	***	***	1200	857.0	914	807
体育領域専攻	15	15	800	555.8	696	507	500	328.9	367	295	1300	884.7	997	830
国語領域専攻	4	5	900	582.2	***	***	600	466.8	***	***	1500	1049.0	1122	968
英語領域専攻	4	4	900	580.8	***	***	400	325.5	***	***	1300	906.3	***	***
数学領域専攻	7	6	900	628.2	***	***	300	209.2	***	***	1200	837.3	927	716
理科領域専攻	7	7	900	606.0	***	***	400	254.1	***	***	1300	860.1	1014	733
体育領域専攻	6	7	800	565.4	***	***	500	330.9	***	***	1300	896.3	963	861

注 当該募集区分の合格者が10名未満の区分については、大学入試センター試験と個別学力検査等の最高点・最低点は公表しない。
 当該募集区分の合格者が5名未満の区分については、大学入試センター試験、個別学力検査等及び総合得点の最高点・最低点は公表しない。
 なお、当該募集区分の合格者が1名の区分については、すべて公表しない。

平成30年度京都教育大学教育学部
志願者・入学者出身高等学校都道府県別調べ

	都道府県名等	志願者	入学者
1	北海道	0	0
2	青森県	1	1
3	岩手県	0	0
4	宮城県	0	0
5	秋田県	2	0
6	山形県	1	1
7	福島県	1	1
8	茨城県	0	0
9	栃木県	0	0
10	群馬県	2	1
11	埼玉県	3	0
12	千葉県	0	0
13	東京都	4	1
14	神奈川県	3	0
15	新潟県	0	0
16	富山県	2	0
17	石川県	8	1
18	福井県	23	9
19	山梨県	0	0
20	長野県	7	2
21	岐阜県	8	4
22	静岡県	16	7
23	愛知県	19	4
24	三重県	3	1
25	滋賀県	63	21
26	京都府	328	126
27	大阪府	140	43
28	兵庫県	92	33
29	奈良県	17	7
30	和歌山県	16	7
31	鳥取県	14	6
32	島根県	4	3
33	岡山県	22	8
34	広島県	23	6
35	山口県	12	3
36	徳島県	11	2
37	香川県	11	7
38	愛媛県	4	4
39	高知県	2	2
40	福岡県	6	2
41	佐賀県	1	1
42	長崎県	1	0
43	熊本県	4	0
44	大分県	5	4
45	宮崎県	1	1
46	鹿児島県	4	4
47	沖縄県	2	2
48	高卒程度認定試験	1	0
49	在外教育施設	0	0
50	その他	1	1
	計	888	326

	志願者	入学者
全国のうち京都府	36.9%	38.7%

平成30年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の高等学校卒業年調べ

卒業年	志願者	入学者
平成30	785	286
29以前	101	39
その他	2	1
合計	888	326

平成30年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の男女別調べ

性別	志願者	入学者
男	375	139
女	513	187
合計	888	326

平成31年度学生募集要項の請求

I. 発行時期

種 類	発行時期（予定）
大学案内	平成30年 6月下旬
入学者選抜に関する要項（本要項）	発 行 中
推薦入試学生募集要項	平成30年 7月下旬
一般入試学生募集要項	平成30年10月下旬

II. 請求方法

1. ホームページから請求する場合

本学ホームページに掲載のテレメール又はモバっちょにより、直接請求できます。
詳しくは本学ホームページ（→入試情報→資料請求）をご覧ください。

2. テレメールから請求する場合

(1) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット { パソコン スマートフォン 携帯電話 }	http://telemail.jp	QRコードからアクセス した場合は資料請求番号 の入力は不要です。	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付） ※一般回線電話からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。		

(2) 請求希望する資料番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内のみ	5 6 4 8 2 2
大学案内+入学者選抜に関する要項（本要項）	5 6 4 8 0 2
入学者選抜に関する要項（本要項）のみ	5 4 4 8 2 2
大学案内+推薦入試学生募集要項	5 8 4 8 4 2
推薦入試学生募集要項のみ	5 4 4 8 4 2
大学案内+一般入試学生募集要項	5 8 4 8 0 2
一般入試学生募集要項のみ	5 4 4 8 3 2

(3) あとはガイダンスに従って登録してください。

◆上記2の問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102
 (受付時間9時30分～18時)

3. 大学情報センターの「モバっちょ」から請求する場合

(取扱いは大学案内、一般入試学生募集要項、推薦入試学生募集要項となります。)

(1) インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話) をご利用ください。

インターネット 〔 パソコン スマートフォン 携帯電話 〕	http://djcm-bj.jp/kyokyo-u3/	
--	--	---

(2) 請求できる資料、請求方法は移動後の画面の指示に従ってください。

◆上記3の問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005

(受付時間平日10時～18時)

4. 郵送での請求

郵便番号、住所、氏名を明記し、**送料 (ホームページ参照) 分**の郵便切手を貼付した返信用封筒 (角形2号 33cm×24cm) を同封のうえ、大学への送付用封筒の表に「大学案内、平成31年度〇〇〇〇要項請求」(募集要項のみの場合は要項名のみ) と朱書きし下記請求先に送付してください。

5. 本学窓口での受領 (各要項発行日以降受付)

平日の9時～17時 (12時30分～13時30分は窓口休止) に、入試グループ④番窓口までお越しください。

※土曜日、日曜日、祝日、夏季一斉休業期間(8月13日～14日)及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く。

◆上記4、5の問い合わせ先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 教務・入試課 入試グループ

TEL 075-644-8161

受付時間 9時～17時 (12時30分～13時30分を除く。)

E-mail nyushi@kyokyo-u.ac.jp

※各要項発行前に請求があった場合には、予約受付となり、各要項発行後に送付することとなります。

※いずれの請求方法の場合も、申込み後の取り消しはできませんので、注意してください。

大学案内図

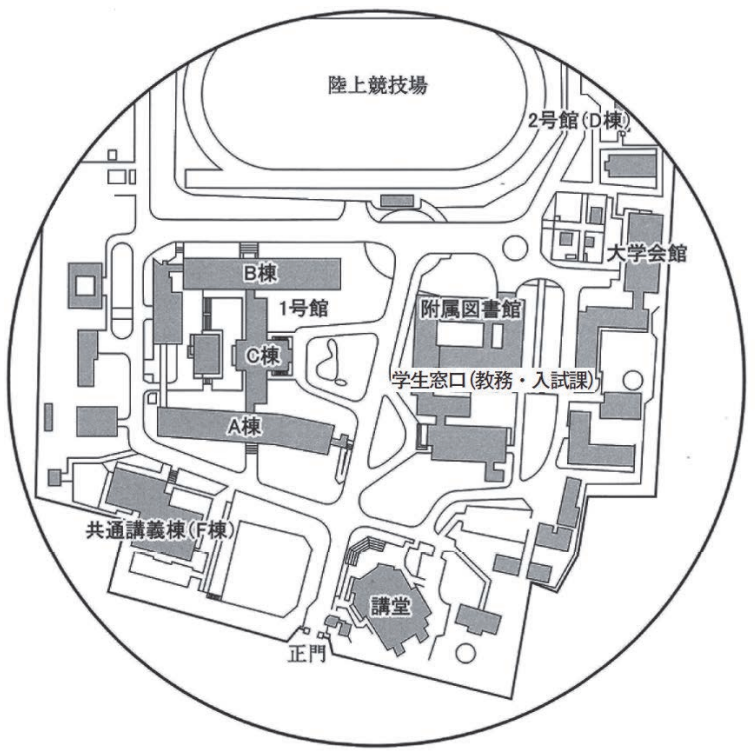


交通案内

- JR利用者
JR奈良線・JR藤森駅下車 徒歩3分
- 京阪電車利用者
京阪・墨染駅下車 徒歩10分
- 近鉄電車利用者
近鉄・丹波橋駅で京阪電車に乗り換え
墨染駅下車

京都教育大学 教務・入試課入試グループ
 《所在地》
 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
 《電話番号》
 075-644-8161

学内図





国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

教務・入試課 入試グループ